

片瀬中学校での片瀬山防災訓練

11月29日(日)快晴のもと、朝9時より安否確認訓練をかわきりに、防災訓練が行われました。
 3.11(東日本大震災)から年ごとに訓練参加者が減ってきています。参加されなかった方々の多くは
 きっと、**自助**による防災対策が整っているという事なのでしょう!?!?!
 まだ不十分な方、次回は是非参加し、防災対策の参考にして下さい。

ジャッキ・パールによる救出



全員集合

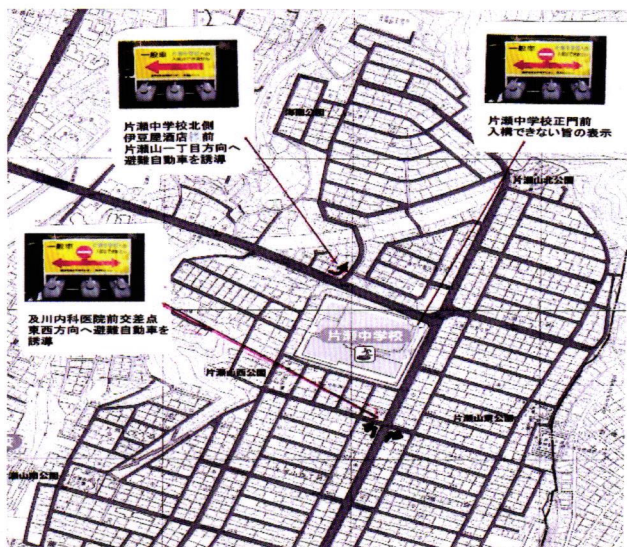


片瀬山のみなさまへ 津波避難自動車は地区内路上駐車です

大地震が発生し、大津波警報等が発令された場合、
 片瀬山への緊急避難自動車を住民の皆さんの周辺の**路上に駐車**するよう誘導します。

皆様のご理解とご協力をお願いします。

片瀬山防災会では避難自動車が緊急避難所・広域避難施設となる片瀬中学校に集中しないよう、
 住宅地内の**路上駐車に誘導する看板**を作成しました。



- ・片瀬中北側 **伊豆屋酒店角**で藤ヶ谷方面からの避難自動車を左折で1・2丁目方向へ誘導
- ・**及川内科医院前**の交差点で片瀬目白山交差点方面からの避難自動車を左折で4・5丁目方向へ誘導、右折で3丁目方向へ誘導

運用については調整中です

必ず来る大地震に対し自助の備えはどのようになっていますか ???
生命・財産を守れますか !!!
この現状をしっかりと把握して下さい

と前回26号でお伝えしました。今回は食料品・水の備蓄について検討したいと思います。

誰にでもできる「日常備蓄」

少し多めの買い置きが「日常備蓄」です。災害食として特別に買い求める必要はありません。
大災害でインフラが寸断された場合、支援が届くまでの少なくとも

1週間は誰にも頼らず暮らせるように備えることが「備蓄」です。

なくなったら困る物を買って置き、古い順から使うようにすればいいだけ。難しいことではなく、いつもより少し多めに食品・水や日用品を買って置きしておく事にすぎないのです。
その際、冷蔵庫にある食料品も考えて買い置きすれば負担は軽くなります。



ある家庭の保存食での1人分1日の献立

- 水： 2Lボトル1本
 - 朝食： ビスケット3枚入り2パック、野菜ジュース、カフェオレ各1缶
 - 昼食： アルファ米1パック、スープパック1袋又はカップ麺1個、ミルクティー1缶
 - 夕食： レトルト米飯 200g1パック、魚・五目豆缶詰各1、味噌汁パック1袋
- 保存食7日分備蓄し、月末に1日分を使用して、自分の防災訓練日とする。翌日には1日分を補充する。

更に、乳幼児や高齢者、病人のいる家庭では、災害時にはすぐ手に入らないミルクや常用薬などを多めに用意しておくことが大切です。備蓄とは自分の頭を使って、自分が生きていくために、必要な物を買って置きしておくということなのです。

ひとり暮らしの備蓄

ひとり暮らしの人は、冷蔵庫に1週間分の食料品・水はないでしょう。コンビニでレトルト食品、スナック菓子、ビールなど、好みの物をいつもより少し多めに買い置きしておけばいいのです。

生活用水の重要性

断水になると、最も困るのは生活用水が使えなくなること。いざという時に備えて、常に風呂に水を張っておきましょう。

編集後記：防災訓練参加者が昨年より減少している様に感じました。しかしその前に行われた安否確認では世帯数の約80%の方々からご協力を得ることが出来、これは訓練に参加されたとカウントして良いと思われまます。安否確認の成功については近隣ネットと自治会の連携が年々向上している証しだと強く感じた次第です。(和田)



発行：片瀬山防災会

連絡先：メール kataseyama.bousaikai@gmail.com

発行責任者：会長(若月) 編集責任者：広報(和田)